

授業科目名： 修論ゼミ（幸田） 【2019 秋学期開講分】

科目区分： 演習（発展）

必修・選択の別： 必修

配当年次： 2 年次

単位数： 4 単位（学習期間 2 学期）

担当教員： 幸田 博人

副担当教員： -

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

本演習の主な内容は、受講生の修士論文またはリサーチペーパーを完成させるための研究指導を行うことである。担当教員は、適宜受講生の報告を受け、研究の進捗状況を確認し、フィードバック・助言を行う。

前期は、研究テーマを決定し、研究に必要な文献サーベイを行い、研究方法を検討し、論文の骨子を完成させる。後期は、研究計画に沿って、論文執筆に取組み、研究成果の集大成として修士論文またはリサーチペーパーを完成し、提出する。

2. 学習目標

実務上のインプリケーションを持つ修士論文またはリサーチペーパーを完成させること。

3. 指導分野及びテーマ

分野： プライベート・エクイティ、イノベーション

テーマ： ベンチャー・エコシステム、産官学連携、CVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）、ESG 投資

4. 求める受講者

指導教員の指導分野及びテーマに沿った論文を作成できる方。

研究テーマの決定から論文の完成までは長い道のりである。十分な時間を確保でき、かつ根気強く取り込める姿勢が求められる。

5. 授業計画

1. イントロダクション：研究テーマの探し方、研究方法の検討等
2. 研究テーマを決定し、研究計画（研究目的、研究の意義、研究方法）を完成する
- 3～12. 研究指導：文献調査、データ収集の状況の確認、研究方法の再検討
- 13～15. 研究指導：先行研究、データを分析し、論文またはリサーチペーパーの章立てを完成する
16. 中間発表を実施し、教員方によるフィードバックを受ける
- 17～23. 論文執筆指導：論文を執筆し、適宜に発表し、フィードバックを受ける
- 24～27. 論文執筆指導：論文の初稿を提出し、それをもとに議論し、修正を行う
- 28～31. 論文執筆指導と発表指導：論文の第 2 稿を完成する。最終の口頭発表の練習を行う
32. 最終発表会

6. 受講上の留意点

各ゼミで提示されるスケジュールに沿ってご受講ください。

7. 成績評価基準

論文審査の点数(80%) + 平常点 (討議への参加度合い、研究への取り組み方など) (20%)

8. 必読書籍・参考書籍

受講生の研究テーマに応じて指定する

9. その他

- ・年間で4単位となるため、【春・秋】もしくは【秋・春】の履修登録の際には、それぞれ2単位(1科目)として扱います。
- ・担当教員の指導分野及びテーマに取り組みたい方。一定の文章作成能力があること、関連する先行文献の調査、データ収集、研究状況の発表に積極的に取り組むことができることが望ましい。
- ・履修期間内に上記の学習内容を進めますが、授業の実施計画は変更となる場合があります。